様式３(2020.08改)

作成日　令和　４年　１月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム設楽の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	創業150年余となる地元の酒蔵からは消毒用のアルコールが届き、清掃を兼ねた民生委員の慰問、小さな手で丹精込めて作ってくれた小学校からの日本茶、職員も名産の五平餅で腕を振るうという町内皆家族のような恵まれた環境に事業所はあります。コロナ禍となり、関わりは縮小せざるをえないものの、小学校には交流に変えて利用者の手縫いの雑巾や職員の編みぐるみが届けられています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は、コロナ対応で時間は短くしています。民生委員会長、家族代表、近くに在る特別養護老人ホームの相談員、地域包括支援センター長、設楽町役場町民課の課長をメンバーとして、隔月開催できています。川釣り客の駐車マナーについては我が事のように憤ってくださる様子が議事録に垣間見え、運営推進会議を通じて一つのチームとなっているように映ります。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	「人に優しい街づくり条例」が敷かれる町だけあって、親身な関わりがあります。２月のアマゴ、6月の鮎の川釣りのシーズンには駐車車輌で道が塞がれてしまうため、町では禁止の白線や看板を設置してくださっています。また本年度の介護改定で基礎研修が義務づけされたことの相談にも動いてくださるなど、常に即時対応があり、事業所は助けられています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	3ユニットあって家族数も多く、管理者とリーダーで一つとなって要望に応えるよう努めています。息子の位牌と写真を拝む利用者には供えるお水を職員が手伝うほか、プリンターやパソコンを持ち込みたいとの希望は様々なリスクを鑑み、「部屋が狭くなってしまうので皆でいるところで安全につかいましょう」と提案して、職員が付き添う状態で操作してもらうようにしています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									